

報道関係者各位
プレスリリース

2011年8月8日
ジェイサート株式会社

ジェイサート、スターフィールド SSL による CA Browser フォーラム策定の “Baseline Requirements”への対応状況について（その1）

ジェイサート株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役：石原 章年 以下、ジェイサート)は、「スターフィールド SSL」を国内で発行販売している、世界最大の認証局（年間発行枚数 60 万枚、シェア 30%）である米国 Go Daddy 社が、CA Browser フォーラムが策定中の “Baseline Requirements for the Issuance and Management of Publicly-Trusted Certificates（以下、Baseline Requirements” に対する対応状況を一部開示致しましたので発表致します。

1. 世界最大の SSL サーバ証明書発行実績を持つ米国 Go Daddy 社としては、CA Browser フォーラムの取組を最大限リスペクトし、Baseline Requirements にて合意形成に至った「信頼されるルート証明機関」としての要件については、先導的に導入実施する。
2. 第一弾として、証明書発行時に行う証明書発行先の身元確認データは 39 ヶ月を超えて信頼せず、再度身元確認を実施するか、あるいは発行済証明書は直ちに強制的に失効させるものとする。（Baseline Requirements Section 11.3 “Age of Certificate Data”）
3. これが対応として、「スターフィールド SSL」のあらゆる証明書の有効期間を、「最長 3 年（36 か月）」に変更する。

CA Browser フォーラム(<http://www.cabforum.org/>)とは、マイクロソフト(IE)、モジラ(Firefox)、グーグル(Chrome, Android)、アップル(Safari, iOS)など世界の主要ブラウザベンダと、ブラウザベンダが「信頼できるルート証明機関」として認定した米国 Go Daddy 社などの認証機関により組成された任意団体であり、SSL サーバ証明書等 PKI 証明書がブラウザ上で果たすべき役割と求められる機能につき合意形成を図るとともに、それらを担保するために必要な「信頼できるルート証明機関」としての要件につき規格化を進めております。

2006 年に誕生した「EV SSL」はその一つの集大成ですが、市場では EV SSL に分類されない廉価で汎用的な SSL が広範に利用されているのが現状であり、そうした汎用 SSL においても、EC サイトなどの Web サービスを利用する一般消費者を、増加一途のなりすましサイトを活用したフィッシング詐欺等から保護するため、「信頼できるルート証明機関」として求められるべき「最低要件」を一意的に共通化しようとの試みが、Baseline Requirements となっております。



今後、CA Browser フォーラムによる Baseline Requirements 全容が明らかになる予定ですが、そのいずれの要件に対しても、世界最大の SSL サーバ証明書発行実績を持つ米国 Go Daddy 社では先導的対応を行う方針ですので、適時発表させていただきます。

【Go Daddy Group, Inc. 会社概要】

代表 : CEO & Founder Bob Parsons

本社 : 米国アリゾナ州スコッツデール

年商 : 850 億円(2010 年実績)

URL : <http://www.godaddy.com>

事業概要 :

- 1.ドメインレジストラ事業(世界最大 4,700 万ドメイン)
- 2.ホスティング事業(世界最大 500 万アカウント)
- 3.SSL 証明書事業(世界最大 60 万ライセンス シェア 30%)

【ジェイサート株式会社 会社概要】

代表 : 代表取締役 石原 章年

本社 : 〒102-0082 東京都千代田区一番町 4 番 22 号 プレイアデー一番町 6 階

資本金 : 7,600 万円

URL : <http://www.jcert.co.jp>

【お問い合わせ】

広報担当 : 白方

連絡先 : info@jcert.co.jp 03-3234-0241